



2014年6月16日

会員卓話

『私の履歴書』『日本の将来』

深田 宏 会員



学生の頃は、あまり勉強はせず、東大英語会の委員長とかオックスフォード大学の外国人留学生の会の会長をやりして、失敗を重ねながら楽しく過したりして、失敗を重ねながら楽しく過した。外務省に入って昭和天皇や吉田総理の警咳に接する光栄に浴した。池田さんから宮沢さん迄の歴代の総理についてもブリーフィングをしたり、随員になったり、通訳をしたりした。

日本はこれから国内総生産でも順位を下げ、人口も減少するだろうから、規模の大きさではなく、規律の正しいこと、治安も良く、総じて真面目であることなどから世界で尊敬される国として輝き、我々国民も誇りをもって生きて行くべきだ。

私が勤務した英、米、仏、豪、シンガポール、フィリピン、インドネシアの7ヶ国は第二次世界大戦の頃の敵国ないしその植民地だった。しかし、そのことのために不愉快な思いをしたことは一度もなかった。国際関係の本質は、「昨日の敵は今日の友であり、今日の友は明日の敵となり得る」ということに尽きると言える。日本は自らが仕掛けた戦争に敗れた国であることを、自らが忘れても関係国は忘れない、ないし忘れていないと主張することがある。このことは覚悟しなければならない。諸外国との関係でも、みんな仲良くとか、世界中に資金をバラまくというのではなく、

日本にとって本当に大事な国、日本に良い感情を抱いている国を大切にして行くべきだ。

現在問題になっている「集団的自衛権の行使の是非」について考えてみると、このような議論をしている国は200もある世界の国の中で日本だけであろう。問題の本質はあまり技術的なところにあるのではなく、日本がたとえただ1つの国であっても従来の立場を守っていくのか、或いは他のほとんどすべての国と同じ立場に立つのかという点にある。このところを真剣に考えて答えを出すべきだろう。

なお、私が現在従事している主な仕事は次のとおりである。

- ・上野製薬株式会社 監査役
- ・カンシーフー(中国最大手の食品会社) 独立董事
- ・公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 副理事長
- ・一般財団法人 鹿島平和研究所 監事
- ・つくばねカントリー・クラブ 理事長

